

2009年（平成21年）10月29日
埼玉新聞より

渡辺拓殖大学長が講演 「日米同盟堅持は当然」

さいたま

拓殖大学（東京都文京区）の
オープンカレッジ（埼玉新聞社



など後援）が、さいたま市浦和区の浦和ワシントンホテルで開かれ、経済学博士で同大の渡辺利夫学長が「近現代史の中の日本とアジア」をテーマに講演した。写真。

渡辺氏は民主党の対米戦略について「対等な関係にするには集団的自衛権の政府的解釈を変えなければならぬ。強い態度をとることが対等ではない」と、沖縄基地問題に絡めて批判。日米中の関係では「鳩山首相の（3国）正三角形の外交関係には、相当異論がある」と強調した。

東アジア共同体についても「各国が一つの価値理念ではなくばらばら。経済もEUとは違う。与党は現実的路線に目覚めてほしい」。また、中国やロシアとの関係は「大陸統治できなかった歴史に学ぶべき」と指摘し、「日本の将来を考えると、日米同盟の堅持が当然の戦略。しかし破たん危機にひんしている」とまとめた。